

令和3年7月20日

保護者各位

種子島高等学校長

夏季休業期間中の新型コロナウイルス感染症対策について（お願い）

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、平素から本校の教育活動に深い御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

先日、本県における新型コロナウイルス感染症については、「感染拡大警戒期間」は継続されることとなりましたが、感染拡大の警戒基準は「ステージⅡ」に引き下げられました。

つきましては、夏季休業期間中も各御家庭において下記のとおり「新しい生活様式」を踏まえた感染症対策について御理解と御協力をお願いします。

記

1 感染症の予防について

- (1) 咳エチケットや手洗いなどの基本的な感染症対策を徹底するとともに、3つの密（密閉、密集、密接）を避けてください。
- (2) 島外等へ移動する場合はその行動履歴を手帳に記入してください。
- (3) 毎日自宅で健康観察を行い、発熱等の風邪症状が見られる場合には外出を控え、自宅で休養するようにしてください。夏季休業期間中も、健康観察や検温を行い、その結果を手帳に記録してください。
- (4) 今後も家庭全体で「新しい生活様式」を実践していただき、裏面の資料を参考に、感染症対策に取り組んでください。

2 部活動について

- (1) 着替えや移動、用具の準備や後片付け等、運動を行っていない時間帯は、可能な限りマスクを着用してください。
- (2) 県内の大会及び練習試合・合宿等については感染症対策を行った上で参加することができます。ただし、県外においては、訪問地における発生状況等を踏まえて、実施の是非を検討します。

3 その他

- (1) 学校行事の変更等、学校からの連絡等につきましては、随時本校の公式ブログでお知らせします。
- (2) 感染者、濃厚接触者とその家族、医療従事者とその家族に対する偏見や差別につながるような行為は断じて許されないものであり、感染症に関する適切な知識を基に、偏見や差別が生じないよう御理解と御協力をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

